

学校教育目標

夢・目標に向かって、強い心で、学びあう子どもの育成



めざす児童像

知「かしこい子」	徳「やさしい子」	体「たくましい子」
「できた。わかった。」で いっぱいのかしこい笑顔	相手を思いやるやさしい笑顔	何事も本気で取り組み、 進んで活動、元気な笑顔



学校経営方針（学力向上に関わる要点）

- ・問題解決的な学習過程を生かした授業実践
- ・意図的、計画的な話し合い活動の実践
- ・個に応じた学習指導の工夫
- ・家庭学習の習慣を定着化

本校児童の重点課題

- ・一人調べで自分なりの考えを分かりやすく説明することが苦手な児童が多い。
- ・算数の学習が好きな児童は少ない。
- ・活用問題や記述問題の回答率・正答率が低い。
- ・相手や目的意識をもった発表ができていない。



研究主題

「できた」「わかった」を実感できる学びのあり方
～3スペース型授業を取り入れた伝え合う授業づくりを目指して～



授業改善

- （1）問題解決的な学習過程を基盤にした3スペース型授業を取り入れた実践
- （2）単元の目標を達成するための単元計画の工夫
- （3）単元の導入やまとめ等での四過程の意図的工夫
- （4）ペア学習や話し合い活動を意図的に仕組み、学びあいながら考えを深める授業実践

学習環境の整備

- （1）階段や教室掲示の充実
- （2）タブレットや電子黒板等のICT機器の活用
- （3）キラキラタイムの実施
 - ① 月：読書
 - ② 木・金：基礎・基本
 - ③ スペキラ：PTAとの連携

家庭との連携

- （1）家庭学習の推進
「家庭学習のきまり」配布
 - ① 大人（教師と保護者）が子どもの学力に責任を
 - ② 学校がすること・保護者がすることを明記
- （2）家庭教育力の啓発
 - ① 基本的な生活習慣の定着
 - ② 週1回のノーマディアディ
→家庭読書の推進